

マクシム・パヴロフ氏（トレチャコフ美術館映像部門長、元映画博物館副館長）を招いての講演会を行います。

扱う素材は『干渉戦争』と『ロマノフ王朝の崩壊』です。

事前に下記リンクからご覧になっていただけるとより話が分かりやすいと思います。

日時：11月28日（火） 17時～19時

東大本郷 文学部三号館7階、スラヴ演習室

（部分通訳付き）

終了後、8階研究室で交流会を予定しています。（授業履修者は無料、その他500円）

楯岡までメールにてご連絡いただければ、セリフ・字幕の日本語訳を差し上げます。

また、急な告知になってしまいましたが、

『干渉戦争』の字幕付き上映会を当日午前中に行います。

11月28日 10時30分 東大本郷 文学部三号館7階、スラヴ演習室

楯岡求美

p. s. 京都で行われてロシア革命100周年を記念する上映会は

昼の部はほぼ満席か立ち見、

80（夜）～180人（昼）という思いがけない入場者数でした。

参考

> 『干渉戦争』1964（ポロコ監督、ヴィソツキー主演）

> <https://www.youtube.com/watch?v=HObBrTbSa40>

> 『ロマノフ王朝の崩壊』（1927）

> <https://www.youtube.com/watch?v=UOlwkqFRhU4>